

さる7月30日に聖隷クリストファー大学看護学部の準教授 藤浪先生をはじめ4名の先生方を講師に部活動代表者40名、先生方9名がAEDを使用した応急手当を実習しました。参加者の感想は以下のとおりです。

9月9日は救急の日



応急手当講習会に参加して

2-4 井口 陽詞

この講習会に参加して心停止の現場に居合わせた人がすぐに心肺蘇生を始めると救命率が2倍になると聞き、一般人の応急手当がとても大事であると感じました。倒れている人を発見してから救急車が到着するまでの対応、胸骨圧迫のコツやAEDの使い方を身につけることができました。緊急時に遭遇した際「行動を起こす勇氣」を持ち、自分に今何ができるのかを冷静に判断し今回学んだ事を生かしたいと思います。南高校のAEDは、本館1階玄関の左側に置いてあることを覚えておきたいと思いました。